学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	グローバル選抜探究	国語	国語1・国語2	4 (うち書写 1)

教科書・教材

『国語1』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、『くりかえし漢字1』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書

授業のねらい(年間指導目標)

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・ 能力を育成する。書写の観点では、字形を整え、文字の大きさ・配列などについて理解し、楷書で書 く力を養い、更に行書の基本的な書き方を学習する。

①知識・技能の定着と応用

語彙・文法の基礎を定着させ、多様な文章を正確に読み書きする力を養う。

②思考力・表現力・判断力の育成

文章の要点を的確に捉え、自分の考えを論理的に整理し、的確に表現する力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を主に予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1学期

国語1 詩:音読に慣れ、作品の描く世界に思索を深める。小説:心情や行動を表す言葉に注意して読み、場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を読み取る。説明文:段落の役割や比較表現に注意して読み、筆者の主張を読み取る。国語2 口語文法:言葉の単位、文節の働き、トモリンクス演習 模試演習問題。書写:楷書「氏名」「基本点画」

国語1説明文:段落の役割に注意して読み、筆者の主張と事例の関係を読み取る。読書を楽しみ、本の探し方を考える。 国語2口語文法:文の組み立て、トモリンクス演習、模試演習問題 書写:楷書「天」「地」、二字書き「天地」、暑中見舞いの書式、和綴じ作品集作り

2学期

国語1時:詩の言葉を読み味わい、語感を磨き、情景を想像して読み取る。説明文:段落の役割や比喩表現に注意して読み、筆者の主張を正確に読み取る。小説:登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。 国語2口語文法:単語の種類、トモリンクス演習、模試演習問題 書写:行書「氏名」行書「基本点画」行書「大木」

国語 1 小説:登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。説明文:筆者の主張と根拠の関係をつかみ、読み取る。古典:古典学習の基本について学び、歴史的背景にも考えを深める。国語 2 口語文法:主語になる単語、トモリンクス演習、模試演習問題 書写:行書「栄光」、「平和」、書初

3学期

国語 1 文学的な文章と説明的な文章を読むための中学 1 年生学習事項を復習する。

|国語 2 |口語文法:述語単語、トモリンクス演習、模試演習問題 | 書写|:『硬筆練習帳』

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	未来探究	国語	国語	4 (うち書写 1)

教科書・教材

『国語1』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、

『くりかえし漢字1』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書

授業のねらい (年間指導目標)

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。書写の観点では、字形を整え、文字の大きさ・配列などについて理解し、楷書で書く力を養い、更に行書の基本的な書き方を学習する。

①知識・技能の基礎の確立

基本的な語彙・文法を習得し、文章の読み書きの土台を築く。

②思考力・表現力・判断力の育成

文章の要点を理解し、自分の考えを簡潔にまとめ、表現する力を身につける。

上記目標に沿って、EdTech 教材を主に予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1学期 国語 1 詩: 音読に慣れ、作品の描く世界に思索を深める。小説: 心情や行動を表す言

葉に注意して読み、場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を読み取る。説明文: 段落の役割や比較表現に注意して読み、筆者の主張を読み取る。 国語 2 口語文法: 言葉の単位、文節の働き、トモリンクス演習 模試演習問題 書写:楷書「氏名」「基本点画」

国語1説明文:段落の役割に注意して読み、筆者の主張と事例の関係を読み取る。 読書を楽しみ、本の探し方を考える。 国語2口語文法:文の組み立て、トモリンク ス演習 模試演習問題 書写:楷書「天」「地」、二字書き「天地」、暑中見舞いの書 式、和綴じ作品集作り

2 学期

国語1時:詩の言葉を読み味わい、語感を磨き、情景を想像して読み取る。説明文: 段落の役割や比喩表現に注意して読み、筆者の主張を正確に読み取る。小説:登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。 国語2口語文法:単語の種類、トモリンクス演習、模試演習問題 書写:行書「氏名」「基本点画」「大木」

国語 1 小説:登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。説明文: 筆者の主張と根拠の関係をつかみ、読み取る。古典:古典学習の基本について学び、 歴史的背景にも考えを深める。 国語 2 口語文法:主語になる単語、トモリンクス演習、模試演習問題 書写:行書「栄光」、「平和」、書初

3学期

国語 1 文学的な文章と説明的な文章を読むための中学 1 年生学習事項を復習する。 国語 2 口語文法: 述語単語、トモリンクス演習、模試演習問題 書写: 『硬筆練習帳』

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	グローバル選抜探究	語	国語	4

教科書・教材

『国語2』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、

『くりかえし漢字2』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、

『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書

授業のねらい(年間指導目標)

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

①知識・技能の発展と活用

高度な語彙・文法・表現技法を習得し、より精度の高い読み書きを身につける。

②思考力・表現力・判断力の深化

文章の構成や意図を深く理解し自分の意見を論理的に組み立て、適切に表現する力を伸ばす。 上記目標に沿って、EdTech 教材を主に予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1学期 小説:心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の考え方を読み取る。

古文:作者のものの見方や感じ方に触れ、読み味わう。トモリンクス演習

説明文:文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読み、理解を深める。 読書を楽しみ、本の探し方を考える。言語活動:1 年次の文法復習、トモリンクス演習。書写:『硬筆練習帳』、

2学期 短歌:語感を磨き、知識や経験を結びつけて読みを深める。

随筆:さまざまな考え方を学び、知識や経験を結びつけて読みを深める。

小説:心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の人柄や心情を読み取る。

トモリンクス演習。

随筆:筆者の思いを捉える随筆の味わい方を知り、日常の読書に活かす。

説明文:適切な根拠な在り方について理解し、文章の構成や論理の展開を吟味する。

古典:古典学習の基本について学び、登場人物・筆者の心情にも思いを深める。

書写:書初指導 言語活動:修飾語・接続語・独立語、トモリンクス演習。

3学期 文学的な文章と説明的な文章、古典を読むための中学2年生学習事項を復習する。

書写:『硬筆練習帳』 言語活動:付属語になる単語 トモリンクス演習。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備 老

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	未来探究	国語	国語	4

教科書・教材

『国語2』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、

『くりかえし漢字2』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、

『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書

授業のねらい(年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資 質・能力を育成する。
- ①知識・技能の定着と強化

基礎的な語彙・文法を確実に習得し、文章の読解と記述の力を向上させる。

②思考力・表現力・判断力の育成

文章の要点を的確に捉え、簡潔で分かりやすく自分の考えを表現できる力を養う。

上記目標に沿って、EdTech 教材を主に予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期 小説:心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の考え方を読み取る。

古文:作者のものの見方や感じ方に触れ、読み味わう。デキタス4・5

説明文:文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読み、理解を深める。 読書を楽しみ、本の探し方を考える。言語活動:1 年次の文法復習、トモリンクス演

習。 書写:『硬筆練習帳』

2 学期 短歌: 語感を磨き、知識や経験を結びつけて読みを深める。

随筆:さまざまな考え方を学び、知識や経験を結びつけて読みを深める。

小説:心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の人柄や心情を読み取る。

トモリンクス演習。

随筆:筆者の思いを捉える随筆の味わい方を知り、日常の読書に活かす。

説明文:適切な根拠な在り方について理解し、文章の構成や論理の展開を吟味する。

古典:古典学習の基本について学び、登場人物・筆者の心情にも思いを深める。

書写:書初指導 言語活動:修飾語・接続語・独立語、トモリンクス演習。

3学期

文学的な文章と説明的な文章、古典を読むための中学2年生学習事項を復習する。

書写:『硬筆練習帳』 言語活動:付属語になる単語、トモリンクス演習。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など(30%)によ り評価する。考査問題は、A 問題 (30 点): 漢字・語彙等の知識問題、B 問題 (50 点): 思考力・ 判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	グローバル選抜探究	国語	国語	4

教科書・教材

『国語3』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、

『くりかえし漢字3』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、

『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書

授業のねらい(年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識・技能の深化と応用

高度な語彙、文法、表現技法を習得し、多様な文章を正確に理解し、表現する力を高める。

②思考力・表現力・判断力の発展

文章の意図を深く分析し、意見を論理的に組み立て、洗練された形で表現する力を伸ばす。 上記目標に沿って、EdTech 教材を主に予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方(年間指導計画)

1学期 │小説:作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。

論説:具体と抽象の関係を捉え、文章の構成や論理の展開を評価する。

漢文:長く受け継がれてきた名言に触れ、人間の生き方について自分たちと関連付けて考える。問題演習、トモリンクス演習。

俳句:特徴について理解を深め、内容や表現のしかたに着目して、読み深める。 読書を楽しむと同時に、本の探し方を考える。言語活動・文法・問題演習、トモリン クス演習。書写:『硬筆練習帳』、

2学期 小説:作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。

論説:情報の信頼性を確かめながら読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ。問題演習、トモリンクス演習

古文: 詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌や俳句の世界に親しむ。作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。

論説:抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読み、筆者のものの見 方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。

問題演習、トモリンクス演習。書写:書初指導

3学期 文学的な文章と説明的な文章を読むための基本的な観点を復習し、中学の総仕上げを 行う。問題演習、トモリンクス演習。書写:『硬筆練習帳』

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	未来探究	国語	国語	4

教科書・教材

『国語3』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、

『くりかえし漢字3』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、

『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

①知識・技能の確実な定着

基礎的な語彙・文法をしっかりと身につけ、簡潔な文章の読み書きの力を強化する。

②思考力・表現力・判断力の基本的な養成

文章の要点を理解し、分かりやすく自分の意見を整理して表現できる力を養う。

上記目標に沿って、EdTech 教材を主に予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方(年間指導計画)

1学期 │小説:作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。

論説:具体と抽象の関係を捉え、文章の構成や論理の展開を評価する。

漢文:長く受け継がれてきた名言に触れ、人間の生き方について自分たちと関連付けて考える。問題演習、トモリンクス演習。

俳句:特徴について理解を深め、内容や表現のしかたに着目して、読み深める。

読書を楽しむと同時に、本の探し方を考える。言語活動・文法・問題演習、トモリン

| クス演習。書写 : 『硬筆練習帳』

2学期 小説:作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。

論説:情報の信頼性を確かめながら読み、これからの社会の在り方について自分の意思なせる。関節深深、トエリングス深深

見を持つ。問題演習、トモリンクス演習。

古文: 詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌や俳句の世界に親しむ。作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。

論説:抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読み、筆者のものの見 方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。

問題演習、トモリンクス演習。 書写:書初指導

3学期 文学的な文章と説明的な文章を読むための基本的な観点を復習し、中学の総仕上げを

行う。問題演習、トモリンクス演習。 書写:『硬筆練習帳』

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜探究	国語	現代の国語	2

教科書 • 教材

『高等学校 現代の国語』数研出版、『高等学校 現代の国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字 2 7 0 0』 浜島書店

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

文章の構造や意図を深く理解し、豊富な語彙と正確な文法を駆使して、複雑な文章を精緻に読み解く能力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

文章を深く考察し、論理的に自分の意見を展開。作文やディスカッションで明確かつ説得力を 持って自分の考えを表現する力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

授業の進め	2万(平周指导計画)
1 学期	対比の構造:対比によって物事をとらえやすく示す。
	情報の聞き取り方
	一般論と主張:一般的に常識とされている事柄に対して、筆者がどのような主張をし
	ているかを読み取る。
	説得力のある話し方
2学期	実用の文章 (図と文章):コミュニケーションの手段を考える。
	論理とレトリック:具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。
	具体と抽象:具体と抽象の対応をとらえながら読む。
	視野を広げる:自己を知るために、他者との関係性に目を向ける。
	論証する
3 学期	思考を深める-関連づけて読む:近代と時間の関係を意識しながら文章を読む。
	課題を発見し解決策を発表する (SDGs 解説文): SDGs の解説文を読み、社会にあ
	る課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。
	プレゼンテーション

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備 考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	国語	現代の国語	2

教科書・教材

『高等学校 現代の国語』数研出版、『高等学校 現代の国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店

授業のねらい(年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する 資質・能力を育成する。

①知識及び技能

基本的な文章構造や意図を理解し、語彙や文法を強化して、文章を適切に読み解く能力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

文章を考察し、意見を論理的に整理。作文やディスカッションで自分の考えをわかりやすく表 現する力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め	り方(年間指導計画)
1 学期	対比の構造:対比によって物事をとらえやすく示す。
	情報の聞き取り方
	一般論と主張:一般的に常識とされている事柄に対して、筆者がどのような主張をし
	ているかを読み取る。
	説得力のある話し方
2 学期	実用の文章 (図と文章):コミュニケーションの手段を考える。
	論理とレトリック:具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。
	具体と抽象:具体と抽象の対応をとらえながら読む。
	視野を広げる:自己を知るために、他者との関係性に目を向ける。
	論証する
3 学期	思考を深める-関連づけて読む:近代と時間の関係を意識しながら文章を読む。
	課題を発見し解決策を発表する (SDGs 解説文): SDGs の解説文を読み、社会にあ
	る課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。
	プレゼンテーション

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価す る。考査問題は、A 問題 (30 点): 漢字・語彙等の知識問題、B 問題 (50 点): 思考力・判断力を 測る問題、C問題(20点): 思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	国語	現代の国語	2

教科書・教材

『新編現代の国語』数研出版、『新編現代の国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字 2 7 0 0 』浜島書店

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

簡単な文章の構造や意図を理解し、語彙と文法を基礎から学んで、文章を読み解く力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

文章を簡単に考察し、意見や感想を簡潔に表現。ディスカッションや作文で自分の考えを伝える力を少しずつ高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方(年間指導計画)

1学期 対比を読み取る:日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。 対比を読み取る:人間と自然のあり方をめぐる筆者の問題意識を把握する。

文章の展開を把握する:論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。

コミュニケーションと言葉:日常的な言葉のやりとりに着目し、その背景にある知識や話し手の含意を読み取る。

適切に話す・聞く (スピーチ)

2学期 言葉の働きをとらえる:日本語の語彙がたどってきた変化を知り、現代日本語の特性 を理解する。

言葉の働きをとらえる:具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。

書き手の考えを比較する:筆者の意見に対して自分はどのように考えるか、根拠を示しながら論理的に述べる。

根拠を読み取る:本文の結論を踏まえて、「差」が持つ意味を考察する。

3学期 文章構造を理解する:文章の一貫性を高めるための工夫を理解する。

課題を発見し解決策を発表する(SDGs 解説文): SDGs の解説文を読み、社会にある課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。

要約する

発表の方法(プレゼンテーション)

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜探究	国語	言語文化	2
教科書・教材				

『高等学校 言語文化』数研出版、『高等学校 言語文化 準拠ワーク』数研出版 『古文単語315』 桐原書店

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

文学作品や古典作品の文化的背景を深く理解し、複雑な言語構造や表現技法を分析。高度な読解力を駆使して、作品の深層を解釈できる力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

作品のテーマや背景を批判的に考察し、深い分析に基づいて論理的に意見を展開。ディスカッションや作文で説得力を持って表現する力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期 古文:説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。 現代文学:小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。 古文:説話集、作り物語 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文: 漢文入門 漢文を読むための基礎基本を入門編として学習する。 現代文学:小説 特殊な素材を扱った小説を学習し、テーマと人物像を学習する。 2学期 古文: 随筆、歌物語 中世の世界観を学習するとともに、平安時代の生活を理解する。 漢文:故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学:小説 中国の小説を典拠とした小説を学習し、その影響を受けた思想や人 物像などを学習する。 古文:随筆、日記 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を理解する。 漢文:歴史書(十八史略) 歴史書を読み、人物像やその当時の価値観を学習する。 現代文学:小説 現代作家の作品を読み、人物の心情の変化などを学習する。 3学期 古文:軍記物語、旅日記 戦争を扱った古文を学習し、世界観や人物像を理解する。 漢文:漢詩 漢詩を鑑賞し、漢詩の基本と人間のものの見方、感じ方を学習する。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

現代文学:小説 戦争を扱った小説を通読し、世界観や人物像を学習する。

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	国語	言語文化	2

教科書・教材

『高等学校 言語文化』数研出版、『高等学校 言語文化 準拠ワーク』数研出版 『古文単語315』 桐原書店

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

文学作品や古典作品の基本的な文化背景を理解し、言語構造や表現を適切に分析。文章を読み解く力を養う。

②思考力·判断力·表現力等

作品の内容を考察し、自分の意見を整理して表現。ディスカッションや作文でわかりやすく考えを伝える力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

| 1学期 | 古文: 説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。 現代文学: 小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。 古文: 説話集、作り物語 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文: 漢文入門 漢文を読むための基礎基本を入門編として学習する。 現代文学: 小説 特殊な素材を扱った小説を学習し、テーマと人物像を学習する。 | 2学期 | 古文: 随筆、歌物語 中世の世界観を学習するとともに、平安時代の生活を理解する。 漢文: 故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学: 小説 中国の小説を典拠とした小説を学習し、その影響を受けた思想や人物像などを学習する。 | 古文: 随筆、日記 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を理解する。 漢文: 歴史書(十八史略) 歴史書を読み、人物像やその当時の価値観を学習する。 現代文学: 小説 現代作家の作品を読み、人物の心情の変化などを学習する。

評価方法

3学期

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

現代文学:小説 戦争を扱った小説を通読し、世界観や人物像を学習する。

古文:軍記物語、旅日記 戦争を扱った古文を学習し、世界観や人物像を理解する。 漢文:漢詩 漢詩を鑑賞し、漢詩の基本と人間のものの見方、感じ方を学習する。

学年	コース	教科	科目	単位数	
高校1年	未来探究	国語	言語文化	2	
教科書・教材					
『新編言語文化』数研出版、『新編言語文化 準拠ワーク』数研出版					

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

文学作品や古典作品の基本的な内容と文化背景を理解し、簡単な言語構造を習得。作品の表面的な意味を読み解く力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

作品の内容を簡単に考察し、感想や意見を簡潔に表現。ディスカッションや作文で自分の考えを少しずつ伝える力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め	方(年間指導計画)
1 学期	古文:説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。
	現代文学:小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。
	古文: 説話集 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。
	漢文:訓読の基本 漢文を読むための基礎基本を学習する。
	現代文学:小説 「ことば」に関する小説を学習し、テーマと人物像を学習する。
	漢字検定対策
2 学期	古文: 説話集 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。
	現代文学:小説 「ことば」に関する小説を学習し、テーマと人物像を学習する。
	古文: 説話集 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。
	漢文:故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。
	現代文学:詩歌、小説 詩歌と現代作家の小説作品を読み、詩歌ではその作品の鑑賞
	を行い、小説では、人物の心情の変化などを学習する。
	漢字検定対策
3 学期	古文:歌物語 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を理解する。

古文:歌物語 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を理解する。 漢文:故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学:小説 著名な作家の作品を読み、テーマと人物像を学習する。 漢字検定対策

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数	
高校1年	選択	芸術	書道 I	2	
教科書・教材					
『書 I 』 教育図書 『楷書の手ほどき』教育図書					

授業のねらい(年間指導目標)

書道の幅広い活動を通し、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

授業の進め方(年間指導計画)

1 学期	「楷書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国古典の名筆から用筆・運筆の技
	能を身に付ける。
	「創作」学んだ用筆・運筆の技能を活かし表現力を身に付ける。
	「団扇」「短冊」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付け
	る。
2 学期	「行書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国と日本の古典の名筆から用筆・
	運筆技能を身に付ける。
	「創作」学んだ用筆・運筆技能を活かし表現力を身に付ける。
	「年賀状」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。
3 学期	「仮名」書道史から漢字と仮名の関係と日本独自の仮名の成立を理解し、日本の古典
	の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。
	「仮名漢字交じり」「カレンダー」者の用筆・運筆の技能を活かし、表現力を身に付
	ける。

評価方法

「古典臨書作品」「創作作品」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品 7 0 %、平常点 3 0 %。

/ 	-12 .
加爾	Z
焩	77

シラバス (国語科)

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜探究	国語	論理国語	2

教科書・教材

『精選論理国語』数研出版、『精選論理国語準拠ノート』数研出版

『キーワード漢字2700』浜島書店

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

論理的文章の分析力を養い、複雑な論理展開を理解。高度な語彙と文法で論理的な文章を正確 に読み解く力を高める。

②思考力·判断力·表現力等

論理を深く考察し、根拠を持って意見を展開。ディスカッションや作文で説得力のある意見を 表現する力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1学期 「学ぶと言うこと」「具体と抽象」について筆者の主張を的確に捉えるとともに、筆者の着眼のおもしろさについて自分の意見をまとめる。
思想・芸術・社会・言語等に関する作品を取り上げる予定である。
「言葉」「近代と現代の視点」について根拠を確かめながら筆者の主張を捉える。

| 言語・経済・情報等に関する作品を取り上げる予定である。 | 2学期 | 「近代と現代の視点」「情報と社会」について、内容・構成・表現を比較するととも

情報・科学・思想等に関する作品を取り上げる予定である。

に、自分自身の意見を文章にまとめる。

「情報と社会」「思考の枠組み」について、内容・構成・表現を比較するとともに、 自分自身の意見を文章にまとめる。

社会・情報・思想等に関する作品を取り上げる予定である。

3学期 「思考の枠組み」「考えの表出」について、自己の価値観と照らし合わせて 考える。複数の資料をもとに自分の意見をまとめ、論じる。

思想・環境等に関する作品を取り上げる予定である。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

シラバス (国語科)

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜	国語	論理国語	3

教科書・教材

『精選論理国語』数研出版、『精選論理国語準拠ノート』数研出版

『キーワード漢字2700』浜島書店

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

論理的な文章構造を理解し、基本的な論理展開を把握。語彙力と文法を強化し、論理的な文章を適切に読み解く力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

論理的な文章を考察し、意見を整理して表現。ディスカッションや作文で論理的に伝える力を 高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方(年間指導計画)

1 学期	「学ぶと言うこと」「具体と抽象」について筆者の主張を的確に捉えるとともに、筆
	者の着眼のおもしろさについて自分の意見をまとめる。
	思想・芸術・社会・言語等に関する作品を取り上げる予定である。
	「言葉」「近代と現代の視点」について根拠を確かめながら筆者の主張を捉える。
	言語・経済・情報等に関する作品を取り上げる予定である。

2 学期

「近代と現代の視点」「情報と社会」について、内容・構成・表現を比較するととも に、自分自身の意見を文章にまとめる。

情報・科学・思想等に関する作品を取り上げる予定である。

「情報と社会」「思考の枠組み」について、内容・構成・表現を比較するとともに、 自分自身の意見を文章にまとめる。

社会・情報・思想等に関する作品を取り上げる予定である。

3学期

「思考の枠組み」「考えの表出」について、自己の価値観と照らし合わせて 考える。複数の資料をもとに自分の意見をまとめ、論じる。 思想・環境等に関する作品を取り上げる予定である。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	国語	論理国語	2

教科書・教材

『論理国語』数研出版、『論理国語 準拠ワーク』数研出版

『キーワード漢字2700』浜島書店

授業のねらい (年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

論理的な文章の基本構造を理解し、語彙と文法を基礎から学び、簡単な論理的文章を読み解く力を養う。

②思考力·判断力·表現力等

論理的な文章を考察し、意見や感想を簡潔に表現。ディスカッションや作文で自分の考えを伝える力を高める。

Edtech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方(年間指導計画)

1 学期	評論読解の導入として、筆者の主張を明確に捉える。
	思想・芸術・社会等の文章を取りあげる予定である。
	具体と抽象について理解し、筆者の主張を明確に捉える。言葉に関心を持つ。
	社会・言語・文学等の文章を取り上げる予定である。
2 学期	近代化に伴って生じた問題について考える。
	文学・言語・経済・科学等の文章を取り上げる予定である。
	情報化社会と日本文化について考える。
	思想・社会・言語等の文章を取り上げる予定である
3 学期	その文章が書かれた時代背景を理解し、現代の価値観と比較する。
	環境・社会等の文章を取り上げる予定である。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

学年	コース	教科	科目	単位数	
高校2年	グローバル選抜探究	国語	文学国語	2	
教科書・教材					

授業のねらい(年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

複雑な文学作品を精緻に分析し、豊富な語彙と文法で正確に読み解く力を養う。

②思考力·判断力·表現力等

多角的に考察し、論理的かつ説得力を持って意見を表現。ディスカッションや作文で深い分析 を発表する力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

授業の進め	0万(午间指導計画)					
1 学期	文学史:近代における日本文学の変遷を概観する。					
	小説読解の導入:登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。					
	平成の小説:題名が本文中でどのような意味で用いられているのか考える。					
	昭和後期の小説:表現上の構成と効果を検討する。解釈の多様性について考える。					
	ビブリオバトル:自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。					
2 学期	昭和初期の小説:寓話的な小説を読み、現代社会が抱える問題について考える。					
	近代の詩歌:さまざまな形式の詩歌に触れ、奥深く広がりのある情緒を味わう。					
	大正の小説:人物の性格・心理描写を的確に把握し、人の心のありようについて考え					
	る。また、作者の講演録を読み、作品に対する理解を深める。					
3 学期	古典の現代語訳:同じ作品の3つの現代語訳を読み、表現上の相違を検討する。					
	文学評論:文学評論を読み、自分にとっての文学の意義について考える。					

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備	考		

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数		
高校2年	選抜	国語	文学国語	3		
教科書・教材						
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版						

授業のねらい(年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

文学作品の基本構造やテーマを理解し、表現技法を把握。語彙と文法を強化し、要点を読み解 く力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

考察を深め、意見を整理して表現。ディスカッションや作文でわかりやすく伝える力を高める。 上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

汉来"之是"	20 (十间11号时间)						
1 学期	文学史:近代における日本文学の変遷を概観する。						
	小説読解の導入:作者がどのように虚構の世界を築き上げているのかを通して、小説とは						
	何かを考える。登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。						
	平成の小説:題名が本文中でどのような意味で用いられているのか考える。						
	昭和後期の小説:表現上の構成と効果を検討する。解釈の多様性について考える。						
	ビブリオバトル:自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。						
2 学期	昭和初期の小説:寓話的な小説を読み、現代社会が抱える問題について考える。						
	近代の詩歌:さまざまな形式の詩歌に触れ、奥深く広がりのある情緒を味わう。						
	大正の小説:人物の性格・心理描写を的確に把握し、人の心のありようについて考え						
	る。また、作者の講演録を読み、作品に対する理解を深める。						
3 学期	古典の現代語訳:同じ作品の3つの現代語訳を読み、表現上の相違を検討する。						
	文学評論:文学評論を読み、自分にとっての文学の意義について考える。						

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備	考

学年	コース	教科	科目	単位数		
高校2年	未来探究	国語	文学国語	3		
教科書・教材						

授業のねらい(年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

作品の基本内容や表現方法を理解し、簡単な構造やテーマを捉える力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

内容を考察し、感想や意見を簡潔に表現する。ディスカッションや作文で考えを伝える力を高める。 上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

**************************************	THE CONTRACTOR						
1 学期	文学史:近代における日本文学の変遷を概観する。						
	小説読解の導入:登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。						
	平成の小説:題名が本文中でどのような意味で用いられているのか考える。						
	昭和後期の小説:表現上の構成と効果を検討する。解釈の多様性について考える。						
	ビブリオバトル:自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。						
2 学期	昭和初期の小説:寓話的な小説を読み、現代社会が抱える問題について考える。						
	近代の詩歌:さまざまな形式の詩歌に触れ、奥深く広がりのある情緒を味わう。						
	大正の小説:人物の性格・心理描写を的確に把握し、人の心のありようについて考え						
	る。						
3 学期	古典の現代語訳:同じ作品の3つの現代語訳を読み、表現上の相違を検討する。						

評価方法

定期考査 (70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など (30%) により評価する。考査問題は、A 問題 (30点): 漢字・語彙等の知識問題、B 問題 (50点): 思考力・判断力を測る問題、C 問題 (20点): 思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

-
≠ ±.
一

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択X	国語	古典探究	2

教科書・教材

『古典探究 古文編』『古典探究 漢文編』数研出版、『古典探究準拠ノート』数研出版 『古文単語315』桐原書店

授業のねらい (年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。
 - ①知識及び技能

古典作品の構造やテーマを理解し、時代背景や表現技法を把握。語彙力と文法を強化し、古典の読解力を高める。

②思考力・判断力・表現力等

作品を考察し意見を整理して論理的に表現する。作文等で考えをわかりやすく伝える力を高める。 上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1学期 古文:説話・歌物語

用言・助動詞・係り結び等の文法事項を理解する。和歌の修辞法を理解する。

漢文:故事

漢文の語順を理解する。

古文: 随筆 · 物語

敬語について理解。宮廷生活や当時の習慣等の背景知識を身につける。

漢文: 史伝

句法について理解する。

2学期 古文:歴史物語・軍記物語

文法事項の確認、宮廷生活や当時の習慣等についての背景知識を深める。

諸子百家について理解する。

古文:日記文学・物語

和歌の修辞法や常識を理解する。

漢文:漢詩

漢詩に関する知識を身につける。

3学期 古文:和歌・歌論・俳諧

漢文:文章

道家思想とその影響を受けた作人に触れる。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点): 語彙・文学史等の知識問題、B問題(50点): 思考力・判断力を測る問題、C問題(20点): 思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数	
高校2年	選択X	国語	探究演習・表現	2	
教科書・教材					
適宜プリント等を配布					

授業のねらい(年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識及び技能

課題を設定し、必要な情報を収集・整理する能力を養う。文献を適切に解釈し、表現技法を学びながら、自分の考えを論理的に組み立てる力を高める。

②思考力·判断力·表現力等

テーマに対して考察を深め、自分の意見を整理して論理的に伝える能力を養う。ディスカッションや作文を通じて、表現力を高め、考えをわかりやすく伝える力を養う。

授業の進め方(年間指導計画)

1 学期	原稿用紙の使い方・具体的に書く・内容に注意して書く				
	複数の立場から考える・課題作文・小論文の書き方を学ぶ				
	文章の要点を把握して意見を決める・課題文型小論文を書く				
	資料を分析して問題点を考える				
2 学期	データ型小論文を書く・メディアを駆使する				
	ショートスピーチをする・建設的な議論を行う				
	面接練習をする				
3 学期	自己分析・他己分析をする				
	自己 PR 文・志望理由書を書く				

評価方法

授業内に提出する小論文 (70%)、国語の基礎知識を問う小テスト、授業に取り組む姿勢など (30%) により評価する。定期考査は実施しない。

備	考				

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数	
高校2年	選択	芸術	書道Ⅱ	2	
教科書・教材					
『書Ⅱ』教育図書	『楷書の手ほど	き』教育図書	『手本蘭亭序』教育図	書	

授業のねらい(年間指導目標)

『硬筆レッスン』教育図書

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせて、生活や社会の中の文字書、 書の伝統文化と深く関わる資質・能力を育成する。

授業の進め方 (年間指導計画)

授業の進め	9万(平周指导計画)
1 学期	「隷書」「篆書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、最古の漢字甲骨文や金文を
	現代の用具筆で表現する技能を身に付ける。
	「創作」楷・行・隷・篆の四体の用筆・運筆の技能を活かし表現力を身に付ける。
2 学期	「行書」「草書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国と日本の古典の名筆か
	ら用筆・運筆の技術を身に付ける。
	「創作」学んだ用筆・運筆の技能を活かし、表現力を身に付ける。
	「年賀状」日常生活と書の文化との関わりを通して、心豊かな創造力を身に付ける。
3 学期	「仮名」日本の古典の名筆から、用筆・運筆の技能と、散らし書きや墨継ぎによる優
	美な書表現を身に付ける。
	「日常書」「熨斗」の種類と用途を知り、書と日常生活の関わりを学び、学習の成果
	を生活に活かす力を身に付ける。

評価方法

「古典臨書作品」「創作作品」「日常書」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。 作品70%、平常点30%。

備	考			

シラバス (国語科)

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	グローバル選抜探究	国語	論理国語	2

教科書・教材

『精選論理国語』数研出版、『精選論理国語準拠ノート』数研出版 『大学入試漢字TOP2000』浜島書店

授業のねらい (年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識及び技能

複雑な文章構造を分析し、深い論理的思考を養う。高度な語彙と文法を駆使し、精緻な表現力を身につける。

②思考力·判断力·表現力等

批判的に論理を考察し、論理的根拠を持って意見を展開。説得力のある表現を通じて、論理的 思考力と自己表現力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

汉来 少 连 4	20 (十周指导时画)
1学期	筆者が依拠する前提に着目しつつ、文化について書かれた評論を読み解く。
	文学・文化・思想等の文章を取り上げる予定である。
	社会の枠組みを論じた評論の読解を通して、「近代」について考える。
	文化・思想・情報等の文章を取り上げる予定である。
2学期	情報や人工知能を論じた評論を読み、多面的な視点で議論や思考を深める。
	情報・思想等の文章を取り上げる予定である。
	環境問題を論じた評論を読むとともに、仮説の設定と検証の方法について考える。
	思想・環境等の文章を取り上げる予定である。
3 学期	読み応えのある評論で筆者の思索の深化をたどるとともに、他の資料と比較する。
	思想・社会・文学等の文章を取り上げる予定である。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

シラバス (国語科)

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	国語	論理国語	2

教科書・教材

『精選論理国語』数研出版、『精選論理国語準拠ノート』数研出版 『大学入試漢字TOP2000』浜島書店

授業のねらい (年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識及び技能

論理的文章の構造を理解し、論理展開を追う力を養う。語彙力と文法を強化し、読み解く力を 高める。

②思考力·判断力·表現力等

論理的に考察し、整理された意見を展開。ディスカッションや作文を通じて、論理的な表現力を向上させる。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

及未少是《	227 (十间排夺时间)
1 学期	筆者が依拠する前提に着目しつつ、文化について書かれた評論を読み解く。
	文学・文化・思想等の文章を取り上げる予定である。
	社会の枠組みを論じた評論の読解を通して、「近代」について考える。
	文化・思想・情報等の文章を取り上げる予定である。
2 学期	情報や人工知能を論じた評論を読み、多面的な視点で議論や思考を深める。
	情報・思想等の文章を取り上げる予定である。
	環境問題を論じた評論を読むとともに、仮説の設定と検証の方法について考える。
	思想・環境等の文章を取り上げる予定である。
3学期	読み応えのある評論で筆者の思索の深化をたどるとともに、他の資料と比較する。
	思想・社会・文学等の文章を取り上げる予定である。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	国語	論理国語	2

教科書・教材

『論理国語』数研出版、『論理国語 準拠ワーク』数研出版 『大学入試漢字TOP2000』浜島書店

授業のねらい (年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識及び技能

基本的な論理展開と文章構造を理解し、基礎的な語彙と文法を習得する力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

簡単な論理的考察を行い、自分の意見を簡潔に表現する力を養う。ディスカッションや作文を 通じて、考えを伝える力を少しずつ向上させる。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方(年間指導計画)

大木りた。				
1 学期	筆者が依拠する前提に着目しつつ、文化について書かれた評論を読み解く。			
	芸術・文化・思想等の文章を取り上げる予定である。			
	社会の枠組みを論じた評論の読解を通して、「近代」について考える。			
	思想・社会・情報等の文章を取り上げる予定である。			
2 学期	情報や人工知能を論じた評論を読み、多面的な視点で議論や思考を深める。			
	情報・思想等の文章を取り上げる予定である。			
	環境問題を論じた評論を読むとともに、仮説の設定と検証の方法について考える。			
	環境・情報等の文章を取り上げる予定である。			
3 学期	読み応えのある評論で筆者の思索の深化をたどるとともに、他の資料と比較する。			
	思想・文学等の文章を取り上げる予定である。			

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	グローバル選抜探究	国語	文学国語	2
教科書・教材				
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい(年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識及び技能

文学作品の構造やテーマを深く分析し、高い語彙力と文法で精緻に読み解く力を養う。

②思考力·判断力·表現力等

多角的に考え、独自の解釈を展開。ディスカッションや作文で論理的かつ説得力を持って意見 を表現する力を高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

及来少是吃						
1 学期	平成の小説:同世代の主人公が活躍する青春小説や、国外でも人気の高い作家の小説を読					
	み、自らの読書生活を豊かにする。					
	昭和中期の小説:太平洋戦争終結後に生まれた「戦後派」の小説を読み、極限の状況					
	下における人間のあり方を考える。					
	ビブリオバトル:自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。					
2学期	大正の小説:多彩な作家が活躍した大正期の小説を読み味わい、日本の近代文学への					
	理解を深める。					
	明治の小説:文語で書かれた小説を読み解き、当時の社会状況が人物の生き方に与え					
	た影響について考える。					
3 学期	戯曲や海外の小説に触れて、今後の幅広い読書体験につなげる。					

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備	考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	国語	文学国語	2
教科書・教材				

授業のねらい(年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識及び技能

文学作品の構造とテーマを理解し、語彙力と文法を強化して要点を的確に読み解く力を養う。

②思考力・判断力・表現力等

作品を考察し、自分の意見を整理して表現。ディスカッションや作文で論理的に考えを伝える力を 高める。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1/2/C -> /C ->	
1 学期	平成の小説:同世代の主人公が活躍する青春小説や、国外でも人気の高い作家の小説を読
	み、自らの読書生活を豊かにする。
	昭和中期の小説:太平洋戦争終結後に生まれた「戦後派」の小説を読み、極限の状況
	下における人間のあり方を考える。
	ビブリオバトル:自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。
2 学期	大正の小説:多彩な作家が活躍した大正期の小説を読み味わい、日本の近代文学への
	理解を深める。
	明治の小説:文語で書かれた小説を読み解き、当時の社会状況が人物の生き方に与え
	た影響について考える。
3 学期	戯曲や海外の小説に触れて、今後の幅広い読書体験につなげる。

評価方法

定期考査 (70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など (30%) により評価する。考査問題は、A 問題 (30 点): 漢字・語彙等の知識問題、B 問題 (50 点): 思考力・判断力を測る問題、C 問題 (20 点): 思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備	考
VITO	

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	国語	文学国語	2
教科書・教材				
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい(年間指導目標)

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

文学作品の基本的な内容と表現技法を理解し、簡単な構造やテーマを捉える力を育む。

②思考力・判断力・表現力等

作品を考察し、感想や意見を簡潔に表現。ディスカッションや作文で自分の考えを伝える力を養う。

上記目標に沿って、EdTech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。

授業の進め方(年間指導計画)

1 学期	平成の小説:同世代の主人公が活躍する青春小説や、国外でも人気の高い作家の小説を読
	み、自らの読書生活を豊かにする。
	昭和中期の小説:太平洋戦争終結後に生まれた「戦後派」の小説を読み、極限の状況
	下における人間のあり方を考える。
	ビブリオバトル:自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。
2 学期	大正の小説:多彩な作家が活躍した大正期の小説を読み味わい、日本の近代文学への
	理解を深める。
	明治の小説:文語で書かれた小説を読み解き、当時の社会状況が人物の生き方に与え
	た影響について考える。
3 学期	戯曲や海外の小説に触れて、今後の幅広い読書体験につなげる。

評価方法

定期考査 (70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など (30%) により評価する。考査問題は、A 問題 (30 点): 漢字・語彙等の知識問題、B 問題 (50 点): 思考力・判断力を測る問題、C 問題 (20 点): 思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備	考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数	
高校3年	選択B	国語	古典探究	2	
教科書・教材					
『古文単語315』桐原書店、『共通テスト対策 古典完答22』(尚文出版)					

授業のねらい(年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識及び技能

古典作品の基本的な構造やテーマを理解し、時代背景や表現技法を把握。古文・漢文の語彙力や文法を強化し、読解力を高める。大学入試共通テストに向けて、古文・漢文の正確な読解と解釈を養う。

②思考力・判断力・表現力等

古典作品の内容を深く考察し、自分の意見を整理して論理的に表現する力を養う。

授業の進め方(年間指導計画)

技業の進め	7万(午间拍导計画)
1 学期	『共通テスト対策 古典完答22』
	古文:第1回~第3回
	漢文:第1回~第3回
	随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。
	『共通テスト対策 古典完答22』
	古文:第4回~第6問
	漢文:4回~第6回 適宜プリント教材
	随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。
2学期	『共通テスト対策 古典完答22』
	古文:第7回~第9回
	漢文:第7回~第9回 適宜プリント教材
	随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。
	『共通テスト対策 古典完答22』
	古文:第10回~第11回
	漢文:第 10 回~第 11 回 適宜プリント教材
	随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。
3 学期	類似対策問題演習(冬期休暇中課題)
並行士沙	

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点): 語彙・文学史等の知識問題、B問題(50点): 思考力・判断力を測る問題、C問題(20点): 思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択D1	国語	国語総合	2

教科書・教材

『力をつける現代文 2』 数研出版

授業のねらい (年間指導目標)

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。
- ①知識及び技能

現代文の長文を効率よく読み、内容を正確に把握する力を養う。語彙力と文法力を強化し、入試に対応できる実力をつける。

②思考力・判断力・表現力等

内容を整理して論理的にまとめる力を養う。さまざまな文章を通じて知識を広げ、意見を明確に表現する力を高める。

授業の進め方(年間指導計画)

1学期	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問1~7 基礎問題・要約練習
	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問8~14 標準問題・要約演習
2学期	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問 15~21 標準問題・要約演習
	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問 22~28 入試問題演習
3 学期	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問 22~28 入試問題演習

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点):漢字・語彙等の知識問題、B問題(50点):思考力・判断力を測る問題、C問題(20点):思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

L	#	±2.
1)	用	石

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択E	国語	探究演習 古典	3

教科書・教材

『古典探究 古文編』『古典探究 漢文編』数研出版、『古典探究準拠ノート』数研出版 『古文単語315』桐原書店、『共通テスト対策 古典完答22』(尚文出版)

授業のねらい(年間指導目標)

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

①知識及び技能

作品の構造やテーマを理解し、語彙・文法力を強化。読解力を高め、基礎的な古典知識を整理。 入試問題に対応できるよう、古文や漢文の読解演習を行い、特に長文読解力を強化。

②思考力·判断力·表現力等

入試形式の作文や論述問題を演習し、論理的で説得力のある表現力を高める。

授業の進め方 (年間指導計画)

1学期 古文:随筆・日記

文法事項の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。

漢文:逸話

句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。

古文:物語

文法事項の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。

漢文:小説

句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。

2 学期

古文:評論

古典の評論を読み、古典作品の解釈について考えを深める。

漢文:史伝

句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。

古文:説話・近世の随筆等

文法事項の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。

漢文:文章

句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、比べ読みをする。

3 学期

古文:近世の作品

幅広く古典作品に触れ、知識を深める。

漢文:漢詩

漢文に影響を受けた日本文学を読む。

評価方法

定期考査(70%)、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など(30%)により評価する。考査問題は、A問題(30点): 語彙・文学史等の知識問題、B問題(50点): 思考力・判断力を測る問題、C問題(20点): 思考力・表現力をはかる問題という構成になる。

備考

『共通テスト対策 古典完答22』(尚文出版)は課題として取り扱う。

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数				
高校3年	選択	芸術	書道	2				
教科書・教材								
使用せず。手書き手本と iPad 書道辞典を使用。								

授業のねらい(年間指導目標)

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書・書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。

字や書・書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。								
授業の進め方(年間指導計画)								
1 学期	「写経」書道史から中国古典・日本古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。							
	「創作」「色紙」「短冊」主体的な構想に基づく個性的・創造的な表現力を身に付ける。							
2 学期	「楷書」「行書」「草書」漢字の書を構成する様々な要素について理解を深め、書体の							
	特色を活かして創造的に表現する技能を身に付ける。							
	「創作」学んだ用筆・運筆を活かし、表現力を身に付ける。							
3 学期	「年賀状」「カレンダー」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を							
	身に付ける。							
	「色紙」学んだ用筆・運筆を活かし、個性的・創作的な表現力で座右の銘を卒業記念							
	の作品として創作する力を身に付ける。							
評価方法	「写経作品」「創作作品」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品							
70%、平常点30%。								

備	考								